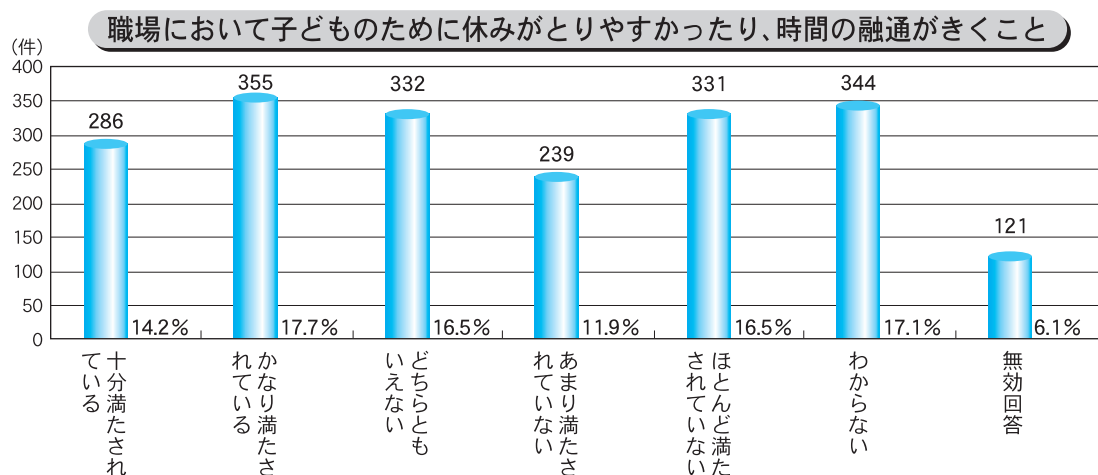
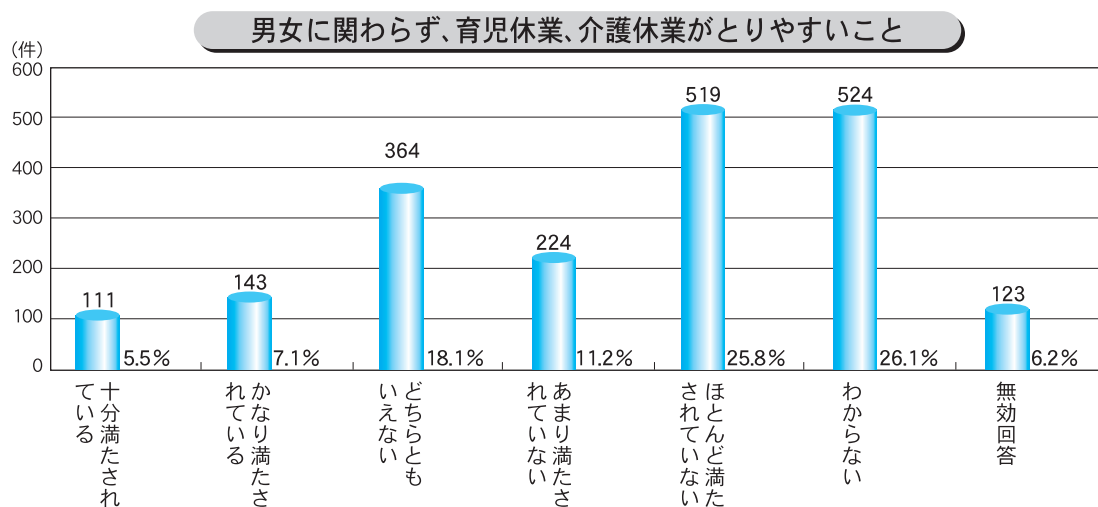


「職場において子どものために休みがとりやすい、時間の融通がきく」については、「十分満たされている」(14.2%)、と「かなり満たされている」(17.7%)を合わせても、満たされていると考えている人は31.9%で、十分とは言えないのが現状です。

また、「男女に関わらず育児休業、介護休業がとりやすい」についても、「十分満たされている」(5.5%)と「かなり満たされている」(7.1%)を合わせて、満たされていると考えている人は12.6%で、その割合はさらに低くなっています。



資料:子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)



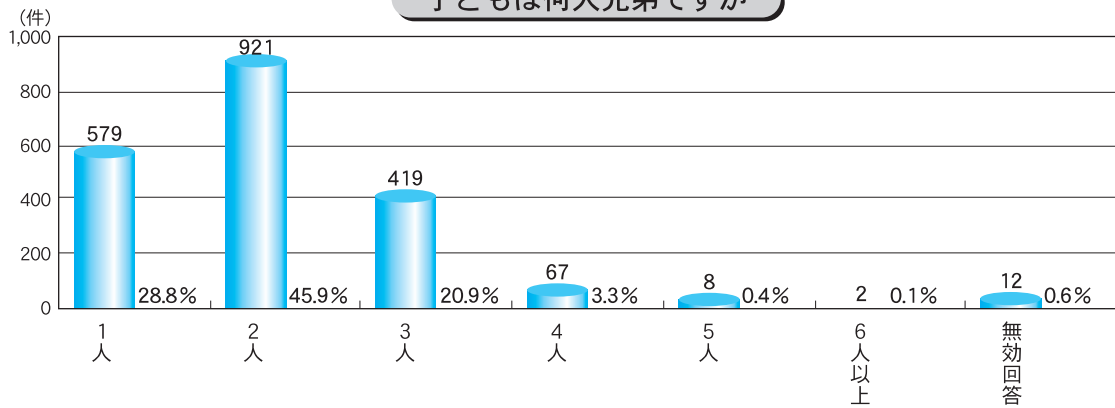
資料:子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)

エ 子どもを取り巻く環境の変化

1世帯あたりの子ども数は、579世帯(28.8%)が1人、921世帯(45.9%)は2人、419世帯(20.9%)は3人、67世帯(3.3%)は4人、10世帯(0.5%)が5人以上(無効12)で、平均すると1世帯あたりの子ども数は約2人となっています。

また、延べ1,038世帯(20.5%)が祖父母と同居しており、同居していない世帯についても延べ1,939世帯(38.4%)が自宅から徒歩30分以内に祖父母が住んでいることから、延べ2,977世帯(58.9%)が何らかの形で祖父母の援助を受けられる環境にあるといえます。

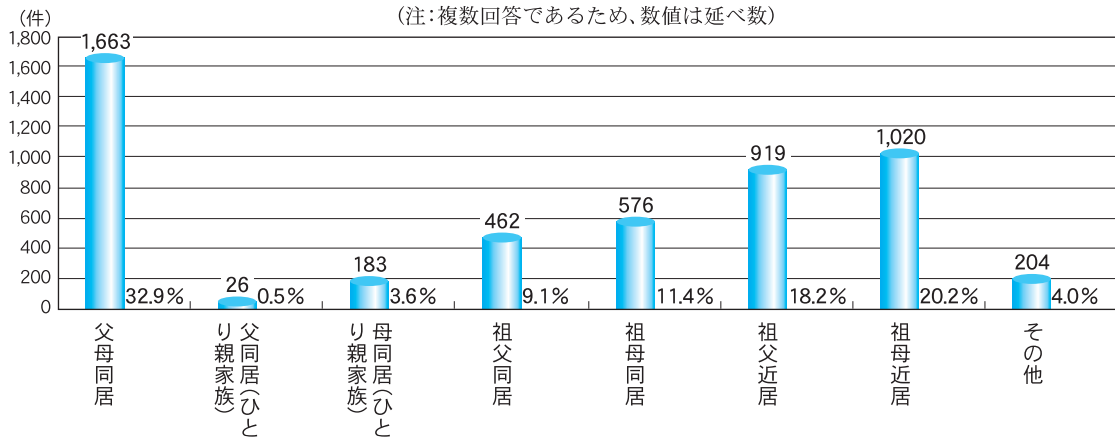
子どもは何人兄弟ですか



資料:子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)

子どもと父、母、祖父、祖母との同居・近居(30分以内)の状況

(注:複数回答であるため、数値は延べ数)



資料:子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)

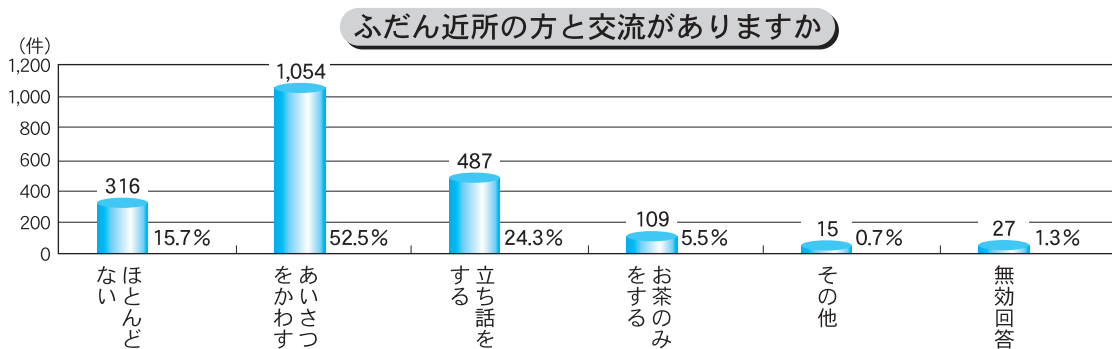
核家族化の推移(各年4月1日現在)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
世帯数	127,922世帯	129,296世帯	128,797世帯	129,942世帯	131,153世帯	132,285世帯
一世帯当たりの人員	2.78人	2.74人	2.74人	2.70人	2.65人	2.61人

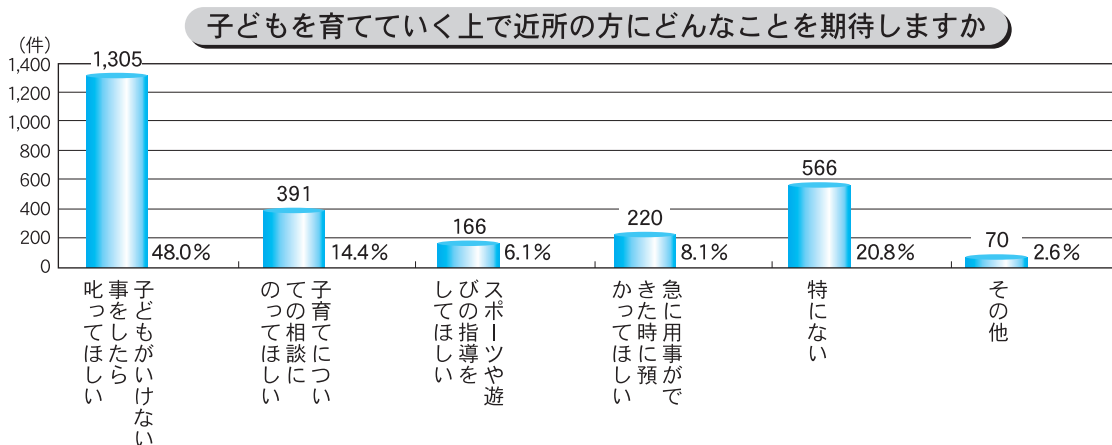
資料:いわき市の人口

「ふだん近所の方と交流がありますか」という問いに対しては、316世帯（15.7%）が「ほとんどない」、1,054世帯（52.5%）が「あいさつをかわす」、487世帯（24.3%）が「立ち話をする」と回答しており、これらを合わせた92.5%の人が近所の方と親しい交流がないといえます。

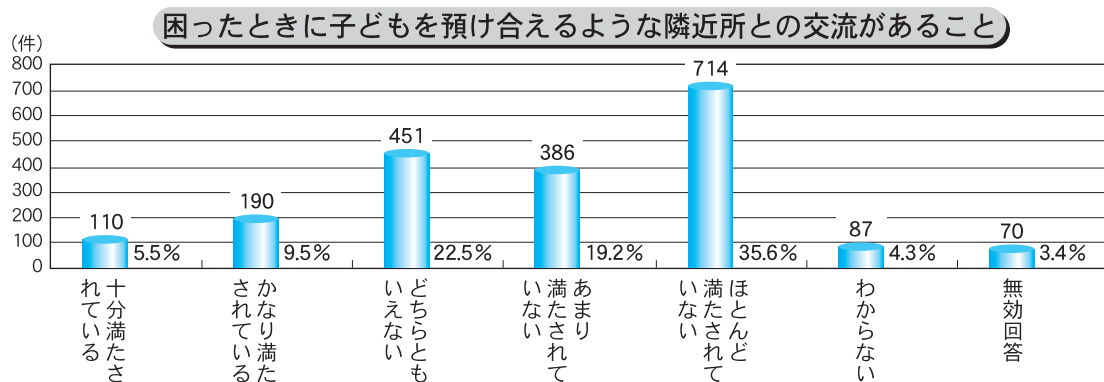
「子どもを育てていく上で近所の方にどんなことを期待しますか」という問いに対しては、約半数の1,305世帯（48.0%）が「子どもがいけないことをしたら叱ってほしい」と回答していますが、566世帯（20.8%）が「特にない」と回答しています。



資料: 子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)



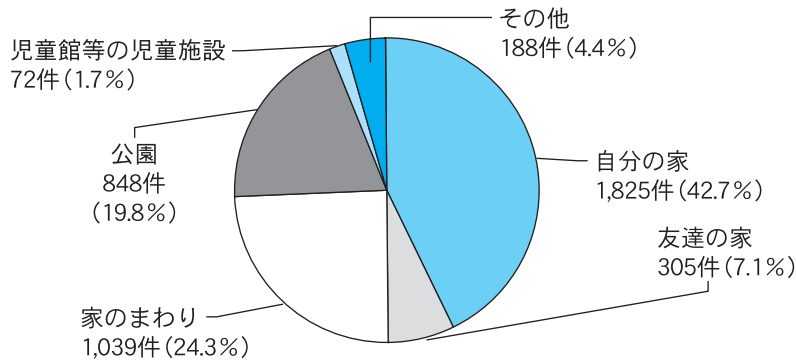
資料: 子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)



資料: 子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)

子どもがいつも遊ぶ場所については、1,825世帯（42.7%）が「自分の家」、1,039世帯（24.3%）が「家のまわり」と回答しており、両方を合わせると全体の67.0%が自分の家を遊び場の中心としていることがわかります。

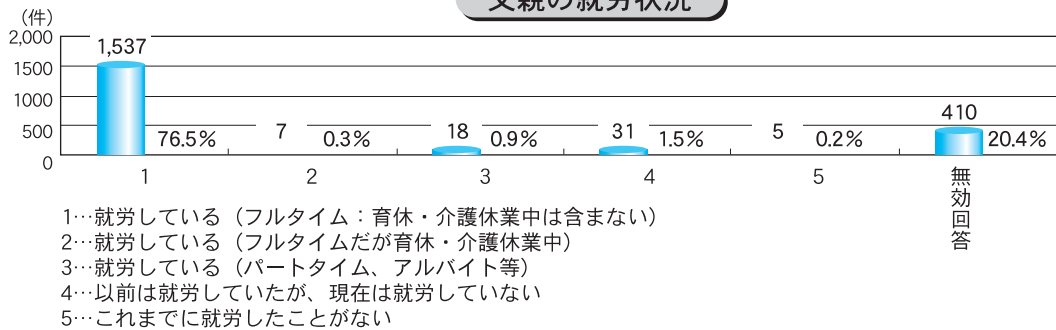
お子さんがいつも遊ぶ場所はどこですか



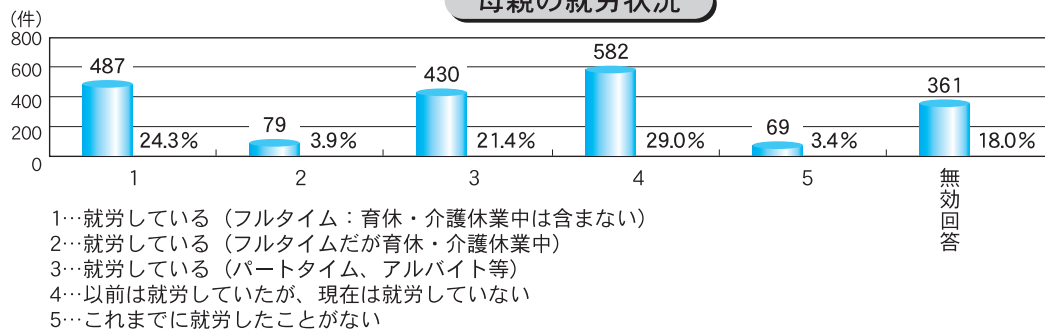
資料：子育て支援に関するアンケート調査（就学前児童の保護者用）

（2）子育て支援に対するニーズの変化

父親の就労状況



母親の就労状況



資料：子育て支援に関するアンケート調査（就学前児童の保護者用）

父親については、ほとんどが「フルタイム（育休含む）」での就労となっており（76.8%）、母親については、「フルタイム（育休含む）」（28.2%）、「パートタイム・アルバイト」（21.4%）を合わせると約半数が就労している状況です。「以前は就労していたが、現在は就労していない」（29.0%）を合わせるとほとんどの人（78.6%）が、就労経験があることになっています。

これらのことから、今後も就労と子育ての両立支援のさらなる充実に努めていく必要があると考えられます。

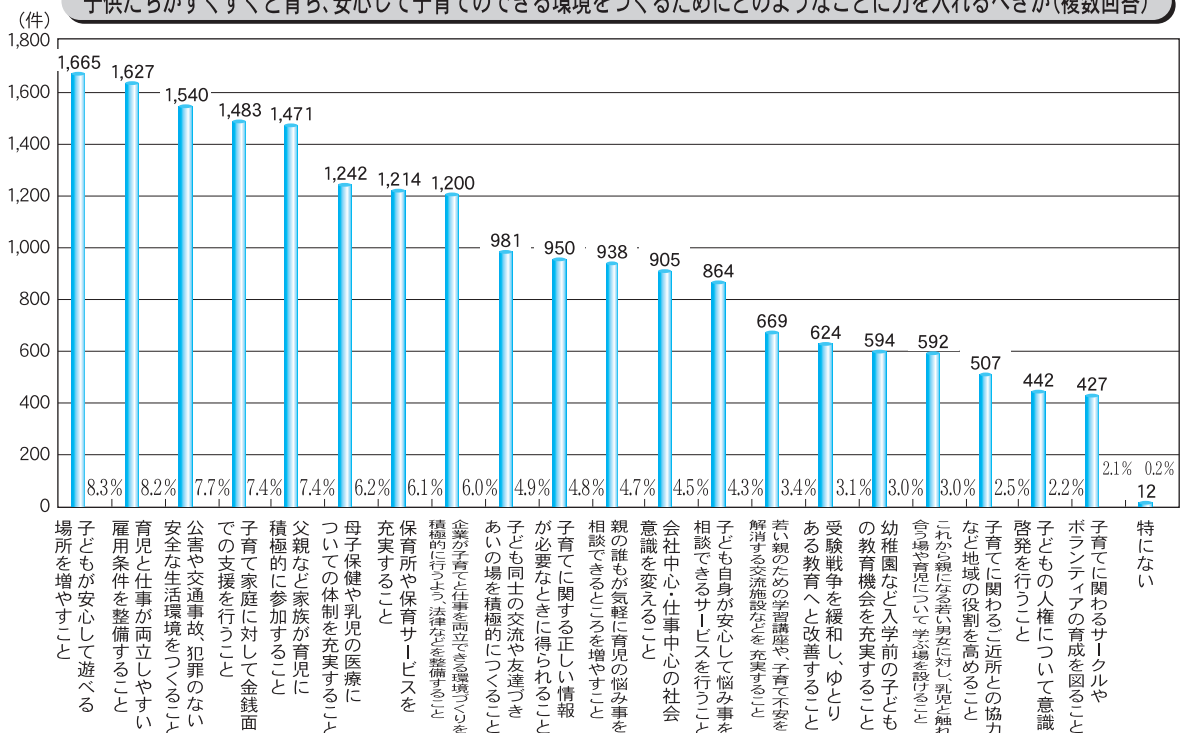
保育サービス等の実施状況

平成21年4月1日現在

事業名	か所数
延長保育事業	24か所
一時預かり事業	13か所
休日保育事業	3か所
乳児保育事業	35か所
地域子育て支援拠点事業	5か所
保育所地域活動事業	60か所
障がい児保育事業	60か所

子どもたちがすくすくと育ち、安心して子育てのできる環境をつくるために力を入れるべきこととしては、「子どもが安心して遊べる場所を増やすこと」1,665件（8.3%）、「育児と仕事が両立しやすい雇用条件を整備すること」1,627件（8.2%）、「公害や交通事故、犯罪のない安全な生活環境をつくること」1,540件（7.7%）、「子育て家庭に対して金銭面での支援を行うこと」1,483件（7.4%）が課題としてあげられています。

子供たちがすくすくと育ち、安心して子育てのできる環境をつくるためにどのようなことに力を入れるべきか(複数回答)



資料：子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)